

薬学研究入門

責任者・コーディネーター	創剤学講座 佐塚 泰之 教授		
担当講座・学科(分野)	構造生物薬学講座、有機合成化学講座、天然物化学講座、衛生化学講座、機能生化学講座、細胞病態生物学講座、微生物薬品創薬学講座、生体防御学講座、分子細胞薬理学講座、創剤学講座、薬物代謝動態学講座、神経科学講座、分子生物薬学講座、臨床医化学講座、薬剤治療学講座、臨床薬剤学講座、地域医療薬学科		
対象学年	1, 2, 3	区分・時間数	実習 21 時間
期 間	通期		
単 位 数	0.5 単位		

・学習方針（講義概要等）

薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を身に着けるために、薬学実習、卒業研究を実施するが、低学年の早い段階から学年進行に伴う様々な専門科目に立脚した研究を遂行することは可能である。いずれかの専門分野において基礎的な技能・知識を学習し研究を遂行することにより、研究に対する主体性と実施能力を身につけ、その後の薬学実習、卒業研究の基盤とする。

・教育成果（アウトカム）

薬学部のいずれかの講座の指導のもと、専門分野での研究に触れ実施することにより、薬学実習、卒業研究の基盤となる技能、知識が形成されるとともに論理的な思考が養われる。

・到達目標（SBO）

1. 基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。（☆）
2. 研究には自立性と独創性が求められていることを知る。（☆）
3. 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。（☆）
4. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。（☆）

・成績評価方法

選択した講座の指導に基づき、研究を遂行し、提出されたレポートにより評価する。

・予習復習のポイント

事前に本実習の実施を希望する講座の教授に相談し、許可を受けた上で履修申告すること。なお、開講時期、時間は各講座の指示に従うこと。

海外英語演習

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 James Hobbs 教授		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
対象学年	1, 2, 3, 4, 5, 6	区分・時間数	演習 約2週間
期間	後期		
単位数	2単位		

・学習方針（講義概要等）

英語圏の国に短期間滞在し、大学または語学学校の教師による集中的な語学の授業を受ける。授業は午前中に行われ、日常会話に役立つ表現や文法事項をテーマに扱う。そして、英語を聴く訓練を通して話す能力を伸ばし、将来医師・歯科医師・薬剤師として活躍する際に必要な英語の総合力を培う。図書館、コンピューター室等の施設を利用することができ、いろいろな国々の人々と共にアクティビティーに参加することもある。また、英語圏の国の文化、歴史に対する理解を深めるために、さまざまな名所旧跡を見学する。

外国での生活から得た経験を通して豊かな人間性を養い、また国籍にかかわらず相手の立場を理解し、臆することなく自己を表現することによって友好的な国際的人間関係を築くことが望ましい。

・教育成果（アウトカム）

教養教育に求められる豊かな人間性の涵養の一環として行う。

- 1.海外での生活体験を通して異文化に触れることで多様な価値観を学び、幅広い視点から人および物事を見ることによって自立の精神を養うとともに、能力・感性を培える。
- 2.英語研修によって日本語を再認識することで、その能力向上を図るとともに、将来必要とされる患者との相互理解、信頼関係構築のための会話能力開発ができる。（ディプロマポリシー：2, 9）

・到達目標（SBO）

- 1.ホストファミリーと英語で意思の疎通ができる。（☆）
- 2.クラスメートと英語で意思の疎通ができる。（☆）
- 3.教室では間違いをおそれず積極的に発言できる。（☆）
- 4.日本人とだけで集まることなく各国の人たちと積極的に交流することができる。（☆）

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません			

・成績評価方法

演習態度・レポート等を総合的に評価する。

・事前学修時間

研修先について参考書や図書館を利用して調べておくこと。これらの作業にはおよそ5時間以上を要する。

・特記事項・その他

研修先：英語圏の国（例：イギリス・アメリカ等）
期間：3月の予定
宿泊施設：ホームステイ

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			

被災地薬剤師から学び考える「地域におけるこれからの薬剤師のあり方」

責任者・コーディネーター	生体防御学講座 大橋 綾子 教授		
担当講座・学科(分野)	生体防御学講座、地域医療薬学科、臨床医化学講座、創剤学講座		
対象学年	1, 2, 3, 4, 5, 6	区分・時間数	講義 6 時間
期 間	後期		
単 位 数	0.5 単位		

・学習方針（講義概要等）

東日本大震災(以下、大震災)被災県にある本学において、大震災における各地域での医療活動を知り、その経験を地域医療につなげる学びは極めて重要である。本科目では、「災害時から現在に至るまで、被災地の薬剤師は何を考え、どのような役割を果たしているのか」を、実際の薬剤師との交流を通じて学ぶ。更に、震災の経験を次世代に伝えたいという薬剤師の思いを受け止め、学んだことを教訓として「これからの薬剤師のあり方」を一人一人が考える機会とする。

・教育成果（アウトカム）

災害時から現在に至るまで、被災地の薬剤師は何を考え、どのように行動しているかを学ぶことにより、患者や生活者の健康に貢献する地域の薬剤師の役割や、行動を支える使命感を理解する。また、震災の経験を薬学生に伝えたいという薬剤師の思いを受け止めることで、次世代育成が薬剤師に求められる重要な資質の一つであることを意識する。更に、地域における薬剤師のあり方や方向性について自ら考えることで、今後身につけるべき資質や倫理観を明確にする。

・到達目標（SBO）

- 1.震災時並びに震災後の被災地における薬剤師の具体的な活動を列挙できる。（☆）
- 2.震災時並びに震災後に行われている医療活動を列挙できる。（☆）
- 3.生活者や患者の視点から、薬剤師の活動とその意義を捉えることができる。（☆）
- 4.地域医療に携わる薬剤師に求められる資質や倫理観について、自らの考えを述べることができる。（☆）
- 5.震災の経験を次世代に伝えたいという薬剤師の思いを受け止めることができる。（☆）

・講義日程

(矢) 東 205 セミナール室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
7/29	金	2	生体防御学講座 EDUCO いわて・学び塾	大橋 綾子 教授 井上 和裕 氏	ガイダンス

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
7/29	金	3	岩手県薬剤師会	中田 義仁 非常勤講師	① 釜石における東日本大震災時の薬剤師の活動（釜石方式）について
7/29	金	4	創剤学講座 地域医療薬学科	松浦 誠 講師 高橋 寛 教授	② 東日本大震災における岩手医大医療支援チームに参加して ③グループ討議
9/16	金	5	生体防御学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 地域医療薬学科	大橋 綾子 教授 松浦 誠 講師 那谷 耕司 教授 高橋 寛 教授	学習成果発表と意見交換

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	スタンダード薬学シリーズ II-1 薬学総論 薬剤師としての基本事項	日本薬学会編	東京化学同人 (定価 4,800 円)	2015
参	『いのちの砦』 釜石方式に 訊け 釜石医師会 医療継続 に捧げた医師たちの 93 日間	芦崎 治(著)	朝日新聞出版 (定価 1,620 円)	2015

・成績評価方法

感想文(20%)、発表とプロダクト(40%)、受講態度(40%)を総合的に判断する。

・予習復習のポイント

日程については、「平成 28 年度被災地薬剤師との交流バスツアー」（岩手県薬剤師会主催。7/30,31 または 8/6,7 で調整中）の実施に合わせる。「被災地薬剤師との交流バスツアー」に関しては、岩手県薬剤師会に感想文を提出する。
各講義に関する復習（振り返り）やプロダクト作成などの時間を要する。
講義日程の変更等は随時掲示する。